

ワンナンバーフォン

ON 01

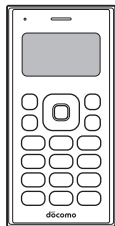
取扱説明書 '18.10

はじめに

「ON 01」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

お使いになる前に

ON 01はワンナンバーサービス専用端末です。ご利用の場合はワンナンバーサービスをご契約のうえ、ご利用ください。なお、ON 01を初期設定するにはON 01（子機）と「ワンナンバー設定」アプリをインストールしたスマートフォン（親機）の接続（ペアリング）が必要です。



ON 01
（子機）



スマートフォン
（親機）

操作説明

「取扱説明書」（本体付属品）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

「スタートアップガイド」（本体付属品）※

はじめてお使いになる方に、本端末を使い始めるために必要な設定や操作について説明しています。

「取扱説明書」（PDFファイル）※

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
「取扱説明書」（本体付属品）と同じ内容です。

※ ドコモのホームページでダウンロードできます。

本書の見かた

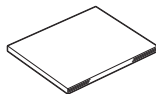
- 本書においては、「ON 01」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■ ON 01本体



■ 取扱説明書



■ スタートアップガイド

- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

■本体付属品	1
■本端末のご利用について	3
■安全上のご注意（必ずお守りください）	4
■取り扱い上のご注意	11

ご使用前の確認と設定 14

各部の名称と機能	14
充電	15
電源を入れる／切る	17
初期設定	17
基本操作	18
文字入力	20
LEDインジケータ	22
アラーム	22
タイマー	23
ストップウォッチ	23
電卓	23

電話 24

電話をかける	24
電話を受ける	26
通話中の操作	27
リダイヤル／着信履歴	28
通話設定	29
電話帳	29

メール 31

メッセージ (SMS)	31
緊急速報「エリアメール」	33


本体設定 34

設定メニュー	34
端末設定	34
通信設定	36
ユーザー設定	37
システム設定	39

付録／索引 41

トラブルシューティング (FAQ)	41
保証とアフターサービス	44
ソフトウェアアップデート	46
主な仕様	48
携帯電話機の比吸収率 (SAR)	49
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones	50
輸出管理規制	51
知的財産権	51
索引	52




本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンがと表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- 端末の品質改善に対応したソフトウェアアップデートを行うことがあります。→P.46

- 紛失に備え画面ロックの暗証番号などを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P.38
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- イヤホンやヘッドセット等のBluetooth周辺機器は本端末ではご利用になれません。
- 本端末は日本国内でのみご利用になります。







安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※ ² ）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※ ³ ）の発生が想定される」内容です。

- ※¹ 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※² 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※³ 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明していません。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れた手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタの取り扱いについて（共通）

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠️ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、
機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示
に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により
罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従って
ください。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となり
ます。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で
着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本
端末を耳から離してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出
ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場
合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因と
なります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因
となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音
量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に
悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機
器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響につ
いてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く
では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因とな
ります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、
その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み
型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用
電気機器を使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは
販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露
出した本端末の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となり
ます。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直
ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となりま
す。

注意



禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでくだ
さい。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P.10「材質一覧」



指示

本端末の受話口／スピーカー部、GPSアンテナ部、LTE／FOMAアンテナ部、Bluetoothアンテナ部は磁気が発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて



警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ ON 01 本体

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（前面縁／側面／背面／ストラップホール）	PC樹脂+10%ガラス繊維	マットUV塗装処理
受話口／スピーカー	ナイロン	なし
透明板（ディスプレイ）	PC樹脂+PMMA	なし
キーボード	PET+TPU	マットUV塗装処理
microUSB-B接続端子の周囲	PA9T	金メッキ、ニッケルメッキ
microUSB-B接続端子（金属部）	銅合金+SUS	金メッキ、ニッケルメッキ
銘板プレート	PC樹脂	なし

取り扱い上のご注意


共通のお願い

- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけないでください。
本端末の防滴仕様は、IPX2※相当です。防水仕様ではないため水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけたり、浸けたりすると故障の原因になります。
※ IPX2とは、鉛直に落下する水滴に対して本端末を15度以内で傾斜しても保護されることを意味しますが、完全防水ではありません。また、実際の使用にあたって、全ての状況での動作を保証するものではありません。
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）をかけたり、浸けたり、風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。
アダプタは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、お客様の取り扱いの不備による水濡れ故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度（電池残量アイコンの表示がのとき）です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、次のとおりです。



2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。

FH/XX：変調方式がFH-SS、その他の方式であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

—————：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国/地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- ① 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

- ③ その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マークTM」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
待受画面でTM→[設定]→[システム設定]→[端末情報]→[認証情報]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

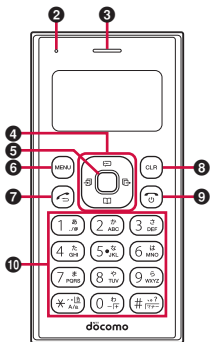
ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

左側



正面



- ① ストラップホール
- ② LEDインジケータ→P.22
- ③ 受話口／スピーカー
- ④ ：方向キー

カーソルや選択したい項目を上下左右に移動します。操作の説明では、、と表記する場合があります。

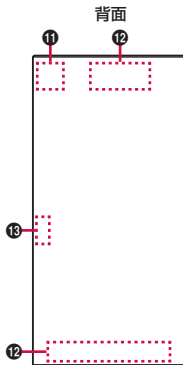
待受画面で次のキーを押すと以下の機能を起動できます。

- ：着信履歴画面の表示→P.28
- ：リダイヤル（発信履歴）画面の表示→P.28
- ：メッセージ一覧の表示→P.31
- ：電話帳の表示→P.29

- ⑤ ：決定キー
項目の選択を決定します。
- ⑥ ：MENUキー
メニューの表示や操作ガイダンス（→P.18）の操作に利用します。
- ⑦ ：発信キー
電話をかけたり、受けたりします。待受画面で押すと、電話番号入力画面を表示します。
- ⑧ ：クリアキー
入力した文字や番号を削除したり、1つ前の画面に戻したりします。
- ⑨ ：電源／終了キー
2秒以上押すと電源が入り、1秒以上押すと電源が切れます（→P.17）。また、通話中に押して通話を終了したり、機能の使用中に押して機能を終了させたりすることができます。
- ⑩ ：ダイヤルキー
電話番号や文字を入力します。

待受画面でを1秒以上押すと、キーロックを設定または解除できます。→P.20

待受画面でを1秒以上押すと、マナーモードを設定または解除できます。→P.20



- ⑪ GPSアンテナ※¹
- ⑫ LTE/FOMAアンテナ※¹
- ⑬ Bluetoothアンテナ※¹
- ⑭ 送話口/マイク
- ⑮ microUSB-B接続端子
- ⑯ 銘板プレート※²

※¹ アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

※² IMEIなどの情報が記載されています。

■ ご注意

- リアカバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

充電

充電時のご注意

- 本端末を使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P.48

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 05 (別売品)：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

DCアダプタ 05 (別売品)：自動車の中で充電する場合に使用します。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to B 01 (別売品) が必要です。

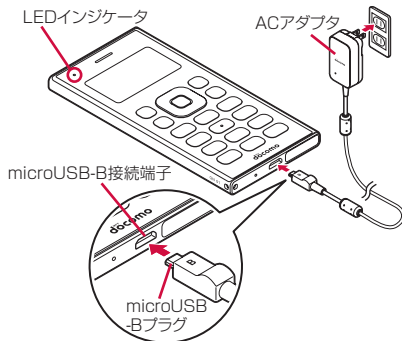
• 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 05 (別売品) を使って充電する場合は次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのmicroUSB-BプラグをBの刻印面を上にして、本端末のmicroUSB-B接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
• LEDインジケータが点灯します。→P.22



- 3 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- 4 本端末のmicroUSB-B接続端子からACアダプタのmicroUSB-Bプラグを水平に抜く

DCアダプタを使って充電


DCアダプタ 05 (別売品) は、自動車のアクセサリソケット (12V/24V) から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくは、DCアダプタ 05の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電

USBケーブル A to B 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

電源を入れる／切る



電源を入れる

- 1 本端末が振動するまで  を押し続ける（2秒以上）
本端末が振動した後、起動画面に続いて待受画面が表示されます。
 - 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→P.17

◆ お知らせ

- 暗証番号入力画面が表示された場合は、暗証番号の入力が必要になります。→P.38

電源を切る

- 1  を押し続ける（1秒以上）
確認画面が表示されます。
- 2 
本端末が振動した後、電源が切れます。

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、親機となる端末に「ワンナンバー設定」アプリをインストールして本端末と接続し、初期設定の操作を行います。

「ワンナンバー設定」アプリについて、詳しくは付属の「スタートアップガイド」をご覧ください。

- 1 本端末の電源を入れる→P.17
- 2 親機の「ワンナンバー設定」アプリを起動→アプリおよび本端末の画面の指示に従い、設定を行う
初期設定が完了すると、「初期設定完了」の通知画面が表示されます。
 - 親機に電話帳が登録されている場合は、電話帳を本端末に転送することができます。

◆ お知らせ

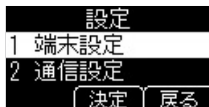
- 本端末をご使用になるためには、親機の契約に加えて「ワンナンバーサービス」の契約が必要になります。
- 「ワンナンバーサービス」を利用する際は、必ず親機の電話帳登録外着信拒否設定を解除してください。解除しなかった場合、緊急通報をかけた際に緊急機関からの折り返し電話に回答できません。
- 本端末で電話機能および電話帳機能のご利用にあたっては、親機で表示される「ワンナンバー設定アプリ等利用規約」に同意いただく必要があります。また、本端末のご利用にあたっては、同規約内の禁止事項に該当する行為を禁止します。
- 「ワンナンバーサービス」について詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

基本操作

項目の選択やメニューの操作、ディスプレイやアイコンの見かたなど、端末の操作について説明します。

項目の選択

◀▶⏪⏩で選択したい項目にカーソルを移動するか、または選択したい項目を表示し、◻を押して決定します。



◆ お知らせ

- 本書では、お買い上げ時の状態をもとに説明しています。お買い上げ後の設定変更などによっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- 項目の左端に数字が表示されている場合は、ダイヤルキーを押して選択できる場合があります。
- 本書の操作手順の記載では、項目の選択を決定する◻の操作を省略しています。

メニューの操作

待受画面で◻を押すとメニューが表示され、機能の選択や設定を行うことができます。

- ◀▶⏪⏩で選択したい項目にカーソルを移動するか、または選択したい項目を表示し、◻を押して決定します。

- ◻を押すと1つ前の画面に戻ります。
- ◻を押すと待受画面に戻ります。

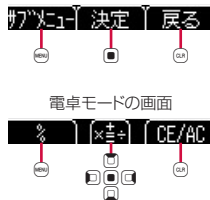
■ メニューで選択できる機能

- 電話帳→P.29
- メッセージ (SMS) →P.31
- アラーム (アラーム/タイマー/ストップウォッチ) →P.22、P.23
- 電卓→P.23
- 留守番電話→P.27
- 設定→P.34

操作ガイダンスについて

画面の下段に表示される操作ガイダンスには、MENUキー、クリアキー、決定キー、および方向キーを押して操作できるメニューや機能が表示されます。

- 表示される内容は画面によって異なります。



- 主に表示されるメニューや機能は次のとおりです。
決定：選択した項目を決定
サブメニュー：サブメニュー (使用できる機能) を表示
戻る：1つ前の画面に戻る

新規：メッセージ（SMS）を新規作成

SMS送信：SMS作成画面を表示

待受画面の見かた

待受画面では、現在の状態（ステータス）や新着情報などを確認できます。



① 通知アイコン

- 不在着信や新着メッセージ（SMS）などのお知らせがあると表示されます。

② ステータスアイコン

- 端末の状態が表示されます。

③ 時計

- 日付と曜日は、待受画面をレイアウト1～3に設定すると表示されます。→P.35

◆ お知らせ

- 電卓モードを「オン」に設定すると、待受画面で番号を入力して電卓として使用できます。→P.35

■ 主な通知アイコン

- : 不在着信あり→P.26
- : 通話中
- : 通話保留中
- : 新着メッセージ（SMS）あり→P.27、P.31
- : ストップウォッチ使用中→P.23

■ 主なステータスアイコン

- (多) ⇔ (少): 電池残量
 - 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。
- : 充電中
- / : 4G（LTE） / 3G使用可能
- (強) ⇔ (弱) (4段階表示): 電波状態
 - 電波状態に応じてアイコンの状態表示部分が変化します。
- : 圏外
- : データ通信中
- : 機内モード設定中→P.36
- : Bluetooth機器接続中
- : アラーム設定中→P.22
- : バイブレーション→P.36
- : サイレントモード→P.36
- : マナーモード設定中→P.20
- : ひらがな入力モード→P.20
- : 半角英小文字入力モード→P.20
- : 全角英小文字入力モード→P.20
- : 半角英大文字入力モード→P.20
- : 半角数字入力モード→P.20
- : 全角数字入力モード→P.20

マナーモード

マナーモードに設定すると、電話の着信音やメッセージ（SMS）の受信音、キータッチ音などが消音され、電話の着信時やメッセージ（SMS）の受信時にはバイブレータが振動します。

1 待受画面で [*] を1秒以上押す

- マナーモード設定中に待受画面で [*] を1秒以上押すとマナーモードを解除できます。

◆ お知らせ

- マナーモード中でも、アラーム音やタイマー音などは消音されません。

キーロック

キーロックを設定すると、キーの誤操作を防止することができます。

1 待受画面で [*] を1秒以上押す

- キーロック設定中に待受画面で [*] を1秒以上押すとキーロックを解除できます*。
- *画面ロックを設定中（→P.38）は、キーロック解除時に暗証番号（→P.37）の入力が必要です。

◆ お知らせ

- キーロック設定中でも、以下の操作をすることができます。
 - 電話を受ける→P.26
 - 緊急の電話（緊急通報（→P.25））をかける
待受画面で ☎ →電話番号を入力→ ☎

文字入力

メッセージ（SMS）の作成や電話帳の連絡先の検索などをするとき、ダイヤルキーや方向キーなどを使用して文字を入力します。

文字入力のしくみ

1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられています。キーを押すたびに文字が切り替わります。

文字入力画面



① 入力モード表示

- 現在の文字の入力モードが表示されます。
- 文字の入力モードには、ひらがな、半角英小文字、全角英小文字、全角英大文字、半角数字、全角数字の6種類があります。

② カーソル

- カーソルの位置に文字が入力されます。

③ 予測候補欄

- 変換候補が表示されます。
- ☐ ☐ ☐ で入力したい変換候補を選び、 ☐ で決定します。

④ CLR

- ☎ を押してカーソルの左側の文字が削除できるときに表示されます。

入力モードを切り替える

文字入力画面で(＊)を押すたびにあ(ひらがな) → a(英字) → 1(数字)の順に、入力モードが切り替わります。

- 入力モードをa(英字)に設定しているときは、(＊)を1秒以上押すたびにA(全角英小文字) → A(全角英大文字) → a(半角英小文字)の順に入力モードが切り替わります。
- 入力モードを1(数字)に設定しているときに、(＊)を1秒以上押すたびに1(全角数字) → 1(半角数字)の順に入力モードが切り替わります。
- 入力画面によって、切り替えられる入力モードが異なります。

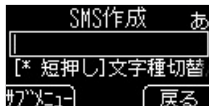
文字入力のしかた

■ ひらがなを変換して入力

入力したひらがなを漢字やカタカナ、記号などに変換することができます。

〈例〉「文字」と入力するとき

- 1 文字入力画面で(＊)を押して、入力モード表示をあに切り替える



2 「もじ」と入力



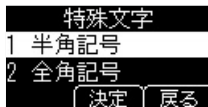
3 変換候補の中から「文字」を選択

■ 記号、絵文字の入力

半角記号、全角記号、絵文字を入力することができます。

- 1 文字入力画面で(＊)を1秒以上押す

- 2 [半角記号] / [全角記号] / [絵文字]を選択



- 3 入力したい記号 / 絵文字を選択



■ スペースの入力

1 文字入力画面で[*]を押して、入力モードを[半角英小文字]に切り替える

- 全角スペースを入力するときは、さらに[*]を1秒以上押し、入力モードを全角英文字 [英]または[A]に切り替えませぬ。

2 [0]

■ 文字の切り替え、濁点／半濁点の入力

入力モードがひらがな [ひ]のときに、大文字／小文字の切り替えや、濁点／半濁点の入力ができます。

1 文字入力画面で文字を入力→[*]

■ 同じキーに割り当てられた文字を逆の順番に表示
複数の文字が割り当てられているキーで文字を入力したとき、確定前に押すと、割り当てられた文字を逆の順番に表示できます。

1 文字入力画面で文字を入力→[C]

■ 文字の削除

1 文字入力画面で[CLR]

- カーソルの左側の1文字が削除されます。

LEDインジケータ

充電中や不在着信など、本端末の状態をLEDインジケータの点灯色(赤／緑)と点灯パターンで通知します。

■ 主なLEDインジケータの点灯色と点灯パターン

赤色点灯：充電中（電池残量0～89%）

緑色点灯：充電中（電池残量90～100%）

赤色点滅：電池残量14%以下

緑色点滅*：不在着信あり、新着メッセージ（SMS）あり

* ディスプレイが消灯しているときに点滅します。

アラーム

1 待受画面で[MENU]→[アラーム]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [MENU]→[追加]

アラーム設定画面が表示されます。

3 時刻を設定→[MENU]

アラームオン／オフ切り替え：アラーム一覧画面でアラームの時刻を選択→[オン]／[オフ]

アラームを編集：アラーム一覧画面で編集したいアラームの時刻にカーソルを移動→[MENU]→[編集]→アラームを編集→[MENU]

アラームを削除：アラーム一覧画面で削除したいアラームの時刻にカーソルを移動→[MENU]→[削除]→[OK]

タイマー

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[アラーム]** → **[タイマー]**
タイマー画面が表示されます。
- 2 時間を入力 → **[OK]**
カウントダウンが開始されます。
- 3 カウントダウンが終了したら **[OK]**
カウントダウンを一時停止：カウントダウン中に **[STOP]**
• カウントダウン一時停止中に **[STOP]** を押し、カウントダウンを再開します。
カウントダウンをリセット：カウントダウン中またはカウントダウン停止中に **[MENU]**

ストップウォッチ

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[アラーム]** → **[ストップウォッチ]**
ストップウォッチ画面が表示されます。
- 2 **[OK]**
計測が開始されます。計測中に **[STOP]** を押しと計測を停止します。
ラップを追加：計測中に **[MENU]**
ラップが記録されます。
 - 記録されたラップを確認するには、**[STOP]** で確認したいラップを選択 → **[OK]** と操作します。
 - 記録されたラップが選択されているときは、**[STOP]** を押してもストップウォッチの計測を停止できません。計測を停止するには、**[STOP]** を押し記録されたラップが選択されていない状態にした後、**[STOP]** を押ししてください。**計測をリセット**：計測停止中に **[MENU]**

電卓

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[電卓]**
- 2 計算する
入力した数字や記号、「=」で完了した計算結果の消去：**[C]**
数式や計算結果をすべて消去：**[MC]** を1秒以上押す

◆ お知らせ

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。
- 電卓モードを [オン] に設定すると、待受画面で計算することもできます。→P.35

電話

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

- ☎を押してカーソルの左側の1桁を消去できます。
☒/☑でカーソルの位置を移動して消去することもできます。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。
- 待受画面を電卓モード(→P.35)に設定している場合は、☎を押して操作ガイダンスを非表示にしてから操作してください。

2 ☎

3 通話が終了したら☎

◆ お知らせ

- VoLTEは、音声通話を高品質でご利用いただけます。VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリアであること
 - 「モバイルデータ通信」の「優先ネットワークタイプ^{*1}」が「4G/3G(自動)」に設定され、「通話モード設定^{*2}」が「オン」に設定されていること

- ※1 待受画面で☎→[設定]→[通信設定]→[モバイルデータ通信]→[優先ネットワークタイプ]と操作して設定できません。
- ※2 待受画面で☎→[設定]→[通信設定]→[モバイルデータ通信]→[通話モード設定]と操作して設定できます。

2秒間の停止を追加/待機を追加

銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するために使用します。それぞれ電話番号の後ろに「,」/「:」が表示されます。

■ 2秒間の停止を追加

- メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力→[*]を1秒以上押す

2 「,」が表示されたら送信する追加番号を入力→☎

■ 待機を追加

- メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[OK]を選択すると追加番号をダイヤルします。

1 待受画面で電話番号を入力→[#]を1秒以上押す

2 「:」が表示されたら送信する追加番号を入力→☎

3 通話中に[OK]

スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルに登録した相手にすばやく電話をかけることができます。

- 電話帳の連絡先を登録します。あらかじめ本端末に親機の電話帳を転送しておいてください。→P.17、P.36

■ スピードダイヤルへの登録

1 待受画面で **MENU** → [設定] → [端末設定] → [通話] → [スピードダイヤル]

スピードダイヤル画面が表示されます。左端にスピードダイヤルで発信するときに入力する番号が表示されます。

2 登録したい番号の [未登録] → 電話帳から登録したい連絡先を選択 → **□**

- 連絡先に複数の電話番号を登録している場合は、スピードダイヤルに登録する電話番号を選択します。

スピードダイヤルに登録されている連絡先の変更 (置換) : スピードダイヤル画面で変更したいスピードダイヤルにカーソルを移動 → **⇐** → [置換] → 電話帳から連絡先を選択

登録されているスピードダイヤルの削除 : スピードダイヤル画面で削除したいスピードダイヤルにカーソルを移動 → **⇐** → [削除] → **□**

■ スピードダイヤルで発信

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(1~99)を入力 → **☎**

◆ お知らせ

- 待受画面で未登録のスピードダイヤル番号を入力して **☎** を押すと、「スピードダイヤルに登録しますか?」と表示されます。**□** を押すと、スピードダイヤルの登録画面へ進みます。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「1184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- プライオリティ着信設定が有効な状態で緊急通報を行うと、プライオリティ着信設定は無効に変更されます。

- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

国際電話 (WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

- WORLD CALLについては、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で☎→+(☎)を1秒以上押す→国番号、地域番号(市外局番)、相手先の電話番号を入力→☎

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信画面が表示されます。



2 ☎

応答拒否：電話がかかってくる→☎

応答拒否してメッセージ(SMS)を送信：電話がかかってくる
→☎→メッセージを選択

3 通話が終了したら☎

◆お知らせ

- 電話に出られなかったときは、待受画面に「着信がありました」と表示され、を押すと着信履歴(→P.28)が表示されます。着信履歴を表示せずに待受画面の表示を消した場合は、が表示され、不在着信があったことをお知らせします。
- 「SMS送受信」を「オフ」に設定している場合は、応答拒否してメッセージ(SMS)を送信することはできません。→P.32

プライオリティ着信

プライオリティ着信設定を「オン」にすると、プライオリティ着信登録に追加された電話帳の連絡先以外の相手から電話がかかってきた場合、着信通知動作(着信音、バイブレーション、LEDインジケータの通知、着信画面表示)はしません。ただし、着信履歴は残ります。

本機能を利用するには、相手の電話番号が登録された電話帳の連絡先をあらかじめ親機から転送しておく必要があります。→P.17、P.36


- プライオリティ着信登録に追加する→P.34

- プライオリティ着信を設定する→P.34

留守番電話サービス (有料)

電波が届かないところにいたり、電源を切ったりしている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします（お申込み必要）。「留守番電話サービス」について詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。


留守番電話サービスの伝言メッセージを確認する

留守番電話サービスで伝言メッセージをお預かりすると、メッセージ（SMS）で通知され待受画面にが表示されます。

1 → [留守番電話] →

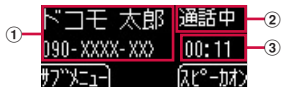
留守番電話サービスに発信します。音声メッセージに従い、伝言メッセージを再生、保存、削除することができます。

◆ お知らせ

- 親機で「ドコモ留守電」アプリをご利用の際は、 → 「設定」 → 「メッセージダウンロード機能利用設定」 → 「利用する」に設定すると、メッセージ（SMS）が届かない場合があります。「利用しない」に設定すると、メッセージ（SMS）の受信が可能となりますが、留守番電話に録音されたメッセージが親機にダウンロードされなくなりますので、ご注意ください。

通話中の操作

通話中に通話音量の調節やハンズフリーによる通話のオン／オフなどができます。




- ① 相手の名前や電話番号
- ② 通話状態表示
- ③ 通話時間

通話音量の調節

1 発信中／通話中に

相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話


1 発信中／通話中に

- ハンズフリーによる通話を終了するには、再度  を押します。
- 発信中や通話中にスピーカーを [オン] にすると、音声などの音量が急に大きくなります。聴力を損なわないために、スピーカーを [オン] にするときは、本端末を耳から離してください。


通話の保留



保留をご利用いただくには、キャッチホン契約が必要です。

1 通話中に → [保留]

- 保留を解除するには、保留中に  → [保留解除] と操作します。

■ 通話中にかかってきた電話を受ける

キャッチホンをご契約の場合は、通話中にかかってきた電話を  を押して受け、通話していた相手を保留の状態に切り替えることができます。

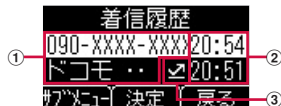
- 保留する相手を切り替えるには  → [切り替え] と操作します。
- 通話中にかかってきた電話を受けるときに  → [保留&応答] / [終了&応答] と操作して、通話していた電話を保留/終了できます。

リダイヤル／着信履歴

電話のリダイヤル（発信履歴）と着信履歴を確認できます。

1 待受画面で /

 を押すとリダイヤル画面、 を押すと着信履歴画面が表示されます。



着信履歴画面の例

- ① 相手の名前または電話番号
- ② 発信日時または着信日時
- ③ 不在着信の表示

2 詳細を確認したい履歴を選択


履歴の詳細（連絡先に登録されている相手の名前、電話番号、発信日時など）が表示されます。



■ リダイヤル／着信履歴から電話の発信やメッセージ（SMS）の送信をする



リダイヤル画面／着信履歴画面、および履歴の詳細画面から電話をかけたり、メッセージ（SMS）を送信したりすることができます。

1 待受画面で /

リダイヤル画面／着信履歴画面、および履歴の詳細画面で次の操作を行います。

電話をかける：電話をかけたい相手の履歴にカーソルを移動または選択 → 

電話番号を変更して電話をかける：電話をかけたい相手の履歴にカーソルを移動または選択→→【発信前に番号を編集】
→電話番号を変更→



メッセージ（SMS）を送信する：メッセージを送信したい相手の履歴にカーソルを移動または選択→→【SMS送信】→メッセージを入力→→【送信】

◆ お知らせ

- リダイヤル／着信履歴の最大表示件数は500件です。

リダイヤル／着信履歴の削除

1 履歴画面で削除したい履歴にカーソルを移動または選択

2 →【削除】→

全件削除：リダイヤル画面／着信履歴画面で→【全削除】→

通話設定

通話に関するさまざまな設定や確認を行います。

1 待受画面で→【設定】→【端末設定】→【通話】

2 設定／確認したい項目を選択

プライオリティ着信：→P.34

スピードダイヤル：→P.25

応答拒否SMS：応答拒否SMSの確認や編集ができます。→P.35

着信履歴：着信履歴画面を表示します。→P.28

発信履歴：リダイヤル画面を表示します。→P.28

自分の番号：自分の電話番号を表示します。


- 親機の電話番号が変更された場合は、【編集】からお客様ご自身で本端末の「自分の番号」を編集してください。


電話帳

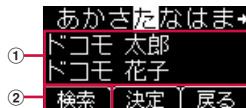
簡単な操作で電話帳に登録されている相手に連絡できます。

- 本端末の電話帳は、親機に登録されている電話帳を初期設定（→P.17）や電話帳コピー（→P.36）により転送して使用します。
- 電話帳の登録や編集が必要な場合は、親機の電話帳で行った後、電話帳コピーで本端末に転送してください。

1 待受画面で

電話帳に登録されている連絡先が50音の各行ごと、および「他」（50音以外の項目）で表示され、で表示を切り替えることができます。

- →【電話帳】と操作しても電話帳を表示することができます。



① 名前

連絡先の名前を選択してプロフィール画面を表示します。プロフィール画面では電話発信、メッセージ（SMS）送信、スピードダイヤル登録などができます。

② 検索

連絡先の検索ができます。

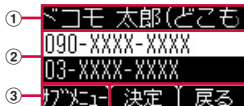
◆ お知らせ

- 本端末に転送できる電話帳の電話番号は、連絡先1件当たり2つまでです。
- 親機で複数の連絡先を1つに統合していた場合は、本端末に転送すると、複数の連絡先に分割されます。
- 電話番号が登録されていない連絡先は、本端末へコピーされません。

プロフィール画面の表示

1 電話帳で連絡先の名前を選択

プロフィール画面が表示されます。



- ① 電話帳に登録されている連絡先名
- ② 電話番号
- ③ サブメニュー

選択した電話番号にメッセージ（SMS）を送ったり、スピードダイヤルに登録したりできます。



メール

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。
※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

メッセージ (SMS) を作成して送信



1 待受画面で携帯電話番号を入力→


- 電話帳から宛先を選択するには、→送信する連絡先の電話番号を選択→→ [SMS送信] と操作します。


2 メッセージを入力→→[送信]

■メッセージの下書き保存


メッセージの作成中、相手の携帯電話番号ごとに1件のメッセージを下書き保存できます。

相手の携帯電話番号とメッセージを入力した後、→ [下書きを保存] と操作するか、またはを押してSMS作成画面を終了すると保存されます。

下書き保存されたメッセージを使用するには、待受画面でを押してスレッド一覧画面を表示し、相手を選択します。

選択したメッセージスレッドに下書き以外のメッセージがある場合は→ [返信] と操作して、下書きを表示します。


◆お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」()を1秒以上押す、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

メッセージ (SMS) を表示

1 待受画面で



スレッド一覧画面が表示されます。

- 送受信したメッセージ (SMS) は、宛先/送信者ごとにスレッド表示されます。
- → [SMS] と操作してもメッセージのスレッド一覧を表示できます。

2 メッセージスレッドを選択



メッセージ (SMS) 一覧画面が表示されます。

◆お知らせ

- メッセージ (SMS) を受信すると、待受画面に「新しいメッセージがあります」と表示され、を押すとスレッド一覧画面が表示されます。スレッド一覧画面を表示せずに待受画面の表示を消した場合は、が表示されます。

メッセージ (SMS) の返信


1 待受画面で 


2 メッセージスレッドを選択 →  → [返信] → メッセージを入力 →  → [送信]


- メッセージの入力画面に下書きのメッセージが表示された場合は、必要に応じてメッセージを編集して送信してください。


メッセージ (SMS) を転送

1 待受画面で 

2 メッセージスレッドを選択 → 転送したいメッセージにカーソルを移動 →  → [転送]



3 携帯電話番号を入力 → 

- 携帯電話番号を入力する代わりに  を押すと、連絡先から宛先を選択できます。
- メッセージの編集ができます。



4  → [送信]

メッセージ (SMS) の削除


1 待受画面で 

2 メッセージスレッドを選択 → 削除したいメッセージにカーソルを移動 →  → [削除] → 

◆ お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドにカーソルを移動 →  → [削除] →  と操作します。

メッセージ (SMS) 送受信の設定

1 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [SMS] → [SMS送受信]


2 [オン] / [オフ]

◆ お知らせ

- 「SMS送受信」を [オフ] に設定するとメッセージ (SMS) の送受信はできなくなりますが、送受信済みのメッセージ (SMS) の閲覧や新規メッセージ (SMS) の作成、下書き保存はできます。

SMS受信優先設定

SMSを優先的に受信する端末 (優先端末) の設定ができます。お買い上げ時は、親機が優先端末に設定されています。本端末を優先端末に設定するには、次の操作を行います。

1 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [SMS] → [SMS受信優先設定]

2 [優先端末設定]

3 [決定]

◆ お知らせ

- 非優先端末の電源が切れているときや圏外のとときに優先端末で受信したメッセージ (SMS) は、非優先端末で受け取れない場合があります。

- ・優先端末の電源が切れているときや圏外の場合は、非優先端末でメッセージ（SMS）が受信できなかったり、同じメッセージ（SMS）を複数回受信したりする場合があります。非優先端末でもメッセージ（SMS）を利用する場合は、必ず優先端末の電源を入れ、圏外にならないようご注意ください。
- ・親機を優先端末に設定する場合は、親機の「ワンナンバー設定」アプリから操作してください。

SMS受信優先設定を確認する

現在の優先端末を確認できます。

- 1 待受画面で **☰** → [設定] → [端末設定] → [SMS] → [SMS受信優先設定]
- 2 [設定確認]

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- ・エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- ・端末のメモリの空き容量が不足した場合は、受信日時が古いエリアメールから削除して、新しいエリアメールを受信します。
- ・次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）
- ・受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- ・専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示される

受信したエリアメールを後で確認

- 1 待受画面で **☰** → [設定] → [端末設定] → [エリアメール] → [エリアメール受信履歴]
- 2 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択
エリアメールの削除

- 1 待受画面で **☰** → [設定] → [端末設定] → [エリアメール] → [エリアメール受信履歴]
- 2 削除するエリアメールにカーソルを移動 → **☰** → [削除] / [すべて削除] → **■**


緊急速報「エリアメール」の設定

エリアメールを受信するかどうかの設定をします。

- 1 待受画面で **☰** → [設定] → [端末設定] → [エリアメール] → [エリアメール受信]
- 2 [オン] / [オフ]

本体設定

設定メニュー


待受画面で  → [設定] を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

	メニュー	参照
端末設定	通話	P.34
	ディスプレイ	P.35
	音	P.35
	SMS	P.32
	電話帳コピー	P.36
	エリアメール	P.33
通信設定	機内モード	P.36
	モバイルデータ通信	P.36
ユーザー設定	言語	P.37
	暗証番号	P.37
	端末初期化	P.38
	ワンナンバー登録情報	P.39
システム設定	日付と時刻	P.39
	端末情報	P.39
	ワンナンバー登録情報	P.39
	ワンナンバー登録情報	P.39

端末設定


通話

プライオリティ着信を設定する

1 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [通話] → [プライオリティ着信] → [プライオリティ着信設定]


2 [オン] / [オフ]

プライオリティ着信登録に追加する

1 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [通話] → [プライオリティ着信] → [プライオリティ着信登録]

2 追加する連絡先を電話帳から選択

プライオリティ着信登録されている連絡先を確認／削除する

1 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [通話] → [プライオリティ着信] → [プライオリティ着信登録者]

プライオリティ着信登録されている連絡先が一覧表示されます。

連絡先の内容を確認：確認したい連絡先を選択

登録されている連絡先を削除：削除したい連絡先にカーソルを移動 →  → [削除] → 削除したい電話番号を選択 → 

応答拒否SMSのメッセージ編集

着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[端末設定]** → **[通話]** → **[応答拒否SMS]**
- 2 編集したいメッセージにカーソルを移動 → **[MENU]**
- 3 メッセージを編集 → **[OK]**

自分の番号を確認

自分の電話番号を確認できます。

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[端末設定]** → **[通話]** → **[自分の番号]**

◆ お知らせ

- **[MENU]** → **[OK]** と操作しても自分の電話番号を確認することができます。

ディスプレイ

待受画面のモードや明るさなどを設定します。

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[端末設定]** → **[ディスプレイ]**
- 2 設定したい項目を選択
待ち受け画面モード：待受画面のレイアウト（表示内容）を4種類の中から選んで設定できるほか、電卓モードに設定することができます。
 - 電卓モードに設定すると、待受画面で番号を入力して電卓として使用できます。

- 電卓モードで電話をかけたりメニュー操作をしたりする場合は、はじめに **[OK]** を押して、電卓機能の操作ガイダンス（→ P.18）を非表示にしてから操作してください。
- 電卓モードに設定していても、かかってきた電話は受けることができます。

明るさのレベル：画面の明るさを設定します。

画面消灯時間：画面が消灯するまでの時間を設定します。[なし]に設定すると、画面が自動的に消灯しなくなります。

キーボードライト：キーボードライトの点灯/消灯、および消灯するまでの時間を設定します。

音

音量や着信音などの設定を行います。

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[端末設定]** → **[音]**
- 2 設定したい項目を選択

音量：アラーム音/着信音/通知音/通話音の音量や、サイレントモード、バイブレーションの設定をします。→ P.35、P.36

着信音：アラーム音/着信音/通知音を設定します。


キータッチ音：キータッチ音のオン/オフを設定します。

アラーム音/着信音/通知音/通話音の音量を設定する


アラーム音/着信音/通知音/通話音の音量を調節できます。

- 1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[端末設定]** → **[音]** → **[音量]**
- 2 **[アラーム音量]** / **[着信音量]** / **[通知音量]** / **[通話音量]** → 音量を調節

◆ お知らせ

- マナーモード中にアラーム音、着信音、通知音、通話音の音量を変更しても、マナーモードは解除されません。
- マナーモード中でも、アラーム音量と通話音量を変更すると、変更した音量で音が鳴ります。
- 通話中に  を押して通話音量を調節することもできます。

サイレントモード／バイブレーションを設定する

- 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [音] → [音量]
- [サイレントモード]／[バイブレーション] → [オン]／[オフ]

サイレントモード：電話やメッセージ（SMS）の着信音を消音にします。



- バイブレーションとは同時に設定できません。
- マナーモード中は、設定できません。

バイブレーション：電話やメッセージ（SMS）の着信時にバイブレーションが作動します。

- サイレントモードとは同時に設定できません。
- マナーモード中は、設定が無効になります。

電話帳コピー


親機と接続して、親機の電話帳をコピーします。

- 待受画面で  → [設定] → [端末設定] → [電話帳コピー] →  → ご利用の親機を選択
- 親機の「ワンナンバー設定」アプリを起動 → アプリおよび本端末の画面の指示に従い、操作する


通信設定

機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、メッセージ（SMS）、パケット通信、Bluetooth機能）が無効になります。

- 待受画面で  → [設定] → [通信設定] → [機内モード]
- [オン]／[オフ]

モバイルデータ通信

- 待受画面で  → [設定] → [通信設定] → [モバイルデータ通信]
- 設定したい項目を選択
データ通信を有効にする：データ通信のオン／オフを設定します。
優先ネットワークタイプ：本端末が優先して接続するネットワークタイプを [4G/3G（自動）] / [3Gのみ] から選択できます。
通話モード設定：「優先ネットワークタイプ」が [4G/3G（自動）] に設定されている場合のVoLTEによる音声通話のオン／オフを設定します。

ユーザー設定

言語

本端末で使用する言語を変更します。

1 待受画面で **[MENU]** → **[設定]** → **[ユーザー設定]** → **[言語]**

2 **[日本語]** / **[English]**

◆ お知らせ

- 「English」に設定しても、メッセージ（SMS）では日本語の入力／表示ができます。

暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。本端末のロックや初期化をするための暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。





暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末をドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

暗証番号を変更する





本端末の画面ロック機能をお使いいただくときや、端末初期化をするときに必要な暗証番号を変更します。

• お買い上げ時は「0000」に設定されています。

- 1 待受画面で  → [設定] → [ユーザー設定] → [暗証番号] → [暗証番号設定]
- 2 旧暗証番号を入力 → 
- 3 新暗証番号を入力 → 
暗証番号確認画面が表示されます。
- 4 新暗証番号を再度入力 → 

画面ロックを設定する



画面ロックを設定すると、画面ロックを解除するときに暗証番号の入力が必要になります。

- 1 待受画面で  → [設定] → [ユーザー設定] → [暗証番号] → [画面ロック]
 - 2 [オン]
 - 3 暗証番号を入力 → 
- 画面ロックを解除する
- 1 画面ロック中に  → 暗証番号を入力 → 

◆ お知らせ



- 画面ロックを解除しなくても、以下の操作をすることができます。
 - 電話を受ける → P.26
 - 緊急の電話（緊急通報）をかける → P.25

画面ロックの設定を解除する

- 1 待受画面で  → [設定] → [ユーザー設定] → [暗証番号] → [画面ロック]
- 2 [オフ]
- 3 暗証番号を入力 → 



端末初期化

本端末を初期化すると、お客様が登録したデータがすべて削除されます。

- 1 待受画面で  → [設定] → [ユーザー設定] → [端末初期化] → 暗証番号を入力 → 
「初期化しますか?」と表示されます。

2

◆ お知らせ

- 本端末を初期化しても、ワンナンバー登録情報（→P.39）は削除されません。
- 端末初期化を行うと、本端末のみではワンナンバー登録情報の削除（→P.40）ができなくなります。
本端末の端末初期化を行った後、ワンナンバー登録情報を削除するには、親機の「ワンナンバー設定」アプリを起動し、ワンナンバー登録情報を削除してください。
- 電池残量の表示が  より少ないとき（電池残量が30%以下のとき）は、本端末を初期化できません。なお、電池残量の表示が  のときは、電池の使用状況によって初期化できる場合があります。

システム設定

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- [日付と時刻を自動設定] / [タイムゾーンを自動設定] を [オフ] にすると、日付と時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

1 待受画面で → [設定] → [システム設定] → [日付と時刻]

2 設定したい項目を選択

日付と時刻を自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。

タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。

日付設定：日付を手動で設定します。

時刻設定：時刻を手動で設定します。

タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 待受画面で → [設定] → [システム設定] → [端末情報]

2 項目を選択

ソフトウェアアップデート：→P.46

認証情報：認定および準拠マークに関する詳細を表示します。

モデル：モデル名を表示します。

ビルド番号：ビルド番号を表示します。

IMEI情報：IMEI情報を表示します。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスに関する詳細を表示します。

ワンナンバー登録情報

ワンナンバー登録情報の設定や確認ができます。


ワンナンバー登録情報を設定する


通信に必要なワンナンバー登録情報を本端末にダウンロードして設定します。

1 待受画面で → [設定] → [システム設定] → [ワンナンバー登録情報] → [設定] → ご利用の親機を選択

2 親機の「ワンナンバー設定」アプリを起動→アプリおよび本端末の画面の指示に従い、操作する

ワンナンバー登録情報を確認する

1 待受画面で  → [設定] → [システム設定] → [ワンナンバー登録情報] → [確認]

2 暗証番号を入力 → 

3 確認／設定する項目を選択

ワンナンバー登録情報表示：ワンナンバー登録情報の設定状態を確認します。

EID表示：EID（ワンナンバー登録情報格納メモリ識別番号）を表示します。

認証設定：ワンナンバー登録情報の設定／確認時に認証（暗証番号入力）が必要かどうかを設定します。

ワンナンバー登録情報削除：ワンナンバー登録情報が削除され、通信ができなくなります。

- 「端末初期化」（→P.38）を行っても、ワンナンバー登録情報は削除されません。

◆ お知らせ


- ワンナンバー登録情報を削除しても、ワンナンバーサービスは解約されません。
- ワンナンバー登録情報の設定後に親機の電話番号を変更した場合は、ワンナンバー登録情報を削除した後、端末初期化を実施してから再度設定してください。

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P.46
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合せ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- **本端末の電源が入らない**
電池切れになっていませんか。
 - **画面が動かない、電源が切れない**
画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、を約10秒間押し続けると本端末を強制的に再起動することができます。
- ※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- **充電ができない (LEDインジケータが点灯しない、充電中アイコンが充電中表示されない)**
 - アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.16
 - ACアダプタ (別売品) をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSB-Bプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P.16
 - USBケーブル A to B 01 (別売品) をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してLEDインジケータが消灯する (充電が停止する)、充電が完了しない、または電池残量が減少する場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
 - NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合せ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- **操作中・充電中に熱くなる**
 - 操作中や充電中、また、充電しながら通話やメッセージ操作を長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
 - 本端末の温度が高い状態が続く場合は、本端末の電源が自動的に切れる場合があります。
 - 本端末の内部温度が通常の動作温度を超えると、温度を調整するために充電が遅くなる可能性があります。

● 電池の使用時間が短い

- ・ 圏外状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードを [オン] に設定するか、電源を切ってください。→ P.17、P.36
- ・ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- ・ 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

● キーを押しても動作しない

- ・ 電源が切れていませんか。→ P.17
- ・ 画面ロックを設定していませんか。→ P.38

● 時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻を自動設定] および [タイムゾーンを自動設定] が [オン] に設定されていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→ P.39

■ 通話


● を押しても発信できない

- ・ 機内モードを [オン] に設定していませんか。→ P.36

● 着信音が鳴らない

- ・ 機内モードを [オン] に設定していませんか。→ P.36
- ・ マナーモードを設定していませんか。→ P.20

● 通話ができない (場所を移動しても の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信できない)

- ・ 電源を入れ直してください。→ P.17
- ・ 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は  を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- ・ 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。
- ・ プライオリティ着信設定を [オン] に設定していると、プライオリティ着信登録に追加されていない相手から電話がかかってきた場合に着信通知動作はしませんが、親機は着信中になるため、本端末から電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番、119番、118番には発信できます。→ P.26、P.34

■ 画面

● ディスプレイが暗い

- ・ 画面消灯時間を短い時間で設定していませんか。→ P.35
- ・ 画面の明るさを変更していませんか。→ P.35

■ 音声

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる


- ・ 通話音量を変更していませんか。→ P.27、P.35



■ Bluetooth機能

● 親機と接続ができない

- ・ 親機のBluetooth機能が無効に設定していませんか。親機のBluetooth機能を有効に設定してから初期設定をしてください。→ P.17

エラーメッセージ

- **端末が高温のため／低温のため充電ができません。**
本端末の温度が高温／低温になった場合は充電ができません。しばらくたってから、または本端末の温度が常温に戻りましたら、再度充電してください。
- **充電してください。バッテリー残量はあと20％／15％／10％です。**
ご使用中に内蔵電池の残量が少なくなると表示されます。内蔵電池を充電してください。
- **バッテリー残量がなくなりました。電源を切ります。**
ご使用中に内蔵電池の残量がなくなると、自動で電源が切れます。内蔵電池を十分に充電してからご使用ください。
- **充電してください**
電池残量が非常に少ない状態で電源を入れたときに表示されます。内蔵電池を十分に充電してからご使用ください。
-  **電池切れの状態**
電池切れの状態です。電源を入れたときに表示されます。内蔵電池を十分に充電してからご使用ください。
- **電話をかけるには機内モードをオフにしてください／機内モードの為、送信できません。**
機内モードを「オン」に設定した状態で電話をかけたり、メッセージを送信しようとしたときに表示されます。機内モードを「オフ」にしてから再度操作してください。→P.36
- **高電圧のため充電ができません。**
AC／DCアダプタを誤って高い電圧で使用すると充電ができません。正しい電圧で充電してください。
- **発信できません**
本端末にワンナンバー登録情報が設定されていません。親機と接続してワンナンバー登録情報を設定してください。→P.17、P.39

- **電池残量が少ない為、初期化できません。**
電池残量の表示がより少ないとき（電池残量が30%以下のとき）は、本端末を初期化できません。本端末を充電してから（→P.15）初期化してください。なお、電池残量の表示がのときは、電池の使用状況によって初期化できる場合があります。
- **更新ファイルのダウンロードに失敗しました。再度ソフトウェア更新を実行してください。**
何らかの理由でソフトウェアアップデートが中断されました。ソフトウェアアップデートを再開する場合は「実行する」を、終了する場合は「Cancel」を選択してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。

■ 無料修理規定

- ① 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
- ② 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 1. 改造 (ソフトウェアの改造も含む) による故障、損傷。
 2. 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 3. 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
- ③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。

- ④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- ⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
- ⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください(→P.41)。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Bluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

お客様が作成されたデータなどについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の2つがあります。

• 新機能追加

端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適に利用いただけます。

• 品質改善

端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適に利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

[ドコモのホームページ] → [お客様サポート] → [製品・サービスのご利用・ご活用情報] → [製品アップデート情報] → [提供中の製品アップデート情報]

https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/list/index.html

■ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にメモなどを取っていただくことをおすすめします。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始するには以下の操作を行います。

• 本体設定から

待受画面で☎→ [設定] → [システム設定] → [端末情報] → [ソフトウェアアップデート] → [更新実行] と操作し、[はい] を選択して更新を開始します。

※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、「ソフトウェア更新の必要はありません」と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- [更新実行] の選択後、書換え処理（インストール）時間の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、①、②のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。


① [今すぐ開始] を選択する

すぐに更新ファイルのインストールを開始します。

② [OK] を選択する

確認画面に表示された時間に予約インストールを開始します。

※ 更新ファイルのダウンロード完了後、書換え処理（インストール）の直前に確認画面が表示されます。インストールを中止したい場合は、一定時間内に [キャンセル] を選択してください。

- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - が表示されているとき
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

2 再起動

更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。

3 更新完了の通知

更新が無事に完了すると、本端末に「ソフトウェア更新が完了しました。」と表示されます。

注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

主な仕様

■本体

品名	ON 01	
サイズ	高さ約110mm×幅約54mm×厚さ約7mm（最厚部約7.3mm）	
質量	約55g	
内蔵メモリ	ROM：4GB RAM：512MB	
連続待受時間 ※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約160時間
	LTE	静止時（自動）：約155時間
連続通話時間 ※2、3	FOMA／3G	約150分
	VoLTE （音声通話）	約130分
充電時間※4	ACアダプタ 05：約145分 DCアダプタ 05：約145分※5	
ディスプレイ	種類	PMOLED
	サイズ	約1.5インチ
	発色数	白黒
	解像度	横128ピクセル×縦64ピクセル
Bluetooth機能	バージョン	4.1※6
	出力	power class 1
	対応プロファイル※7、8	OPP（1.2）、SPP（1.1）
表示言語	日本語／英語	
入力言語（文字入力）	日本語／英語	

- ※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
- ※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ※4 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電し、約10分後に電源を入れて充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。
- ※5 USBケーブル A to B 01（別売品）を使用した場合の充電時間です。
- ※6 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※7 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※8 イヤホンやヘッドセット等のBluetooth周辺機器は本端末ではご利用になれません。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	4.35V
公称容量	548mAh

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種ON 01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.91W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は1.54W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

ZTE Corporationのホームページ

<http://www.zte.co.jp/products/handsets/sar/>

※ 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model ON 01 mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves* and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.91 W/kg and when worn on the body is 1.54 W/kg. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

ZTE Corporation Website:

<http://www.zte.co.jp/products/handsets/sar/> (in Japanese only)

* Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

輸出管理規制

本製品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

商標

- 「FOMA」「WORLD CALL」「エリアメール」「Xi」「Xi/クロッシ」「ワンナンバー」「ワンナンバーサービス」「ワンナンバーフォン」は（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用していません。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Copyright 2010-2018 © Kika Tech., All Rights Reserved.
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

オープンソースソフトウェア

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、待受画面で☰→[設定] → [システム設定] → [端末情報] → [オープンソースライセンス] をご参照ください。
- オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://opensource.ztedevice.com/>

索引

ア

アイコン	
ステータスアイコン	19
通知アイコン	19
明るさのレベル	35
アフターサービス	44
アラーム	22
暗証番号	37
エラーメッセージ	43
エリアメール	33
受信	33
設定	33
応答拒否SMS	26, 35
オープンソースソフトウェア	51
音	35
音量	35

カ

画面消灯時間	35
画面ロック	
解除	38
設定	38
設定解除	38
キータッチ音	35
キーボードライト	35
キーロック	20
機内モード	36

緊急速報「エリアメール」	33
緊急通報	25
クリアキー	14
決定キー	14
言語	37
国際電話 (WORLD CALL)	26

サ

材質	10
時刻	39
システム設定	39
自分の電話番号	35
充電	16
充電用アダプタ	15
注意	15
パソコン	17
ACアダプタ	16
DCアダプタ	16
終了キー	14
受話口	14
仕様	48
商標	51
初期設定	17
ストップウォッチ	23
ストラップホール	14
設定メニュー	34
送話口	15
ソフトウェアアップデート	46

タ

タイマー	23
ダイヤルキー	14
端末情報	39
オープンソースライセンス	39
認証情報	39
IMEI情報	39
端末初期化	38
端末設定	34
知的財産権	51
着信音	35
着信履歴	28
通信設定	36
通話	34
ディスプレイ	35
電源キー	14
電源を入れる	17
電源を切る	17
電卓	23
電池	
充電	15
寿命	15
電話	24
受ける	26
かける	24
スピードダイヤル	25
待機を追加	24
通話音量	27
通話設定	29
ハンズフリー	27
保留	28

2秒間の停止を追加	24
電話帳	29
検索	30
プロフィール画面	30
電話帳コピー	36
トラブルシューティング	41

ハ

発信キー	14
日付と時刻	39
時刻設定	39
タイムゾーンの選択	39
タイムゾーンを自動設定	39
日付設定	39
日付と時刻を自動設定	39
プライオリティ着信	34
方向キー	14
保証	44

マ

マイク	15
待受画面	19
待ち受け画面モード	35
マナーモード	20
銘板プレート	15
メッセージ (SMS)	31
削除	32
作成	31
送信	31

転送	32	SMS	31
表示	31	SMS受信優先設定	32
返信	32	WORLD CALL	26
SMS送受信	32		
文字入力	20		
モバイルデータ通信	36		

ヤ

ユーザー設定	37
輸出管理規制	51

ラ

リダイヤル	28
留守番電話サービス	27

ワ

ワンナンバー登録情報	39
------------------	----

英数字

Bluetoothアンテナ	15
FAQ	41
FOMAアンテナ	15
GPSアンテナ	15
LEDインジケータ	22
LTEアンテナ	15
MENUキー	14
microUSB-B接続端子	15
SAR	49

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に应答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● バイブレーション→P.36

電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

● マナーモード→P.20

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します。そのほかにも、留守番電話サービス（→P.27）などのオプションサービスが利用できます。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

総合お問い合わせ先
(ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00~午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所では携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 ZTE Corporation

'18.10(1.3版)